

# 平成29年度 農林水産分野の生物多様性連携シンポジウム 自然資本でつなげる・つながる

～農林水産分野の自然資本の取組を起点としたSDGsへの貢献～

## 開催概要

本シンポジウムは、今後の農山漁村地域の生物多様性保全活動を効果的に促進していくための方策を考えることを目的に平成26年から毎年開催してきたものです。

今年は、「農林水産分野の自然資本の取組を起点としたSDGsへの貢献」といったタイトルを掲げ、SDGsの意義や重要性に関する知見を深めるとともに、農林水産政策研究所委託研究の研究事例や企業・地域の先進事例を紹介いただきました。後半のパネルディスカッションでは、今後の農林水産分野の生物多様性保全活動におけるSDGsの具体的な推進策について、活発な意見交換が行われました。

## 【プログラム】

日 時	平成30年2月28日(水) 14時00分～17時30分
会 場	農林水産省 本館7階講堂 (東京都千代田区霞が関1-2-1)
プログラム	<p>●基調講演</p> <p>「SDGsで自分を変える、世界が変わる」 川廷 昌弘 氏 (株式会社博報堂DYホールディングスグループ広報・IR室CSRグループ推進担当部長)</p> <p>「農林水産分野の自然資本の取組とSDGsの関係」 栗山 浩一 氏 (京都大学大学院農学研究科 教授)</p> <p>●事例報告 ～農林水産分野の自然資本の取組とSDGsへの貢献～</p> <p>「海外企業の自然資本経営」 藤田 香 氏 (日経エコロジー編集/日経BP環境経営フォーラムプロデューサー)</p> <p>「生産者と消費者のフードチェーンでつながる田んぼとお米と環境と」 宮川 和之 氏 (コープデリ生活協同組合連合会CSR推進部 食と商品グループ長)</p> <p>「国産材・地域材利用による生物多様性配慮・環境コミュニケーション」 齊藤 申一 氏 (コクヨ株式会社人事総務部環境ユニット長)</p> <p>「遊休荒地を活用した梔子ヴィンヤードぶどう畑における生態系調査・植生再生」 林田 昌也 氏 (麒麟株式会社執行役員CSV戦略部長)</p> <p>「世界農業遺産「大崎耕土」における持続可能な水田農業」 高橋 直樹 氏 (宮城県大崎市産業経済部世界農業遺産推進室係長)</p> <p>「生物多様性を伝える活動(全国の調査研究と取材から)」 上野 由里代 氏 (北九州・魚部副代表)</p> <p>●パネルディスカッション</p> <p>「自然資本から広がるSDGsに対する農山漁村の貢献可能性～生産者と消費者をつなぐ～」</p> <p>【コーディネーター】橋本 禅 氏 (東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)</p> <p>【パネリスト】 川廷 昌弘 氏 (株式会社博報堂DYホールディングスグループ広報・IR室CSRグループ推進担当部長)</p> <p>宮川 和之 氏 (コープデリ生活協同組合連合会CSR推進部 食と商品グループ長)</p> <p>高橋 直樹 氏 (宮城県大崎市産業経済部世界農業遺産推進室係長)</p> <p>中川 一郎 氏 (農林水産省大臣官房政策課 環境政策室長)</p> <p>長田 啓 氏 (環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性主流化室長)</p> <p>西田 貴明 (三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング株式会社グリーンインフラ研究センター 副主任研究員)</p>
共 催	農林水産省、京都大学大学院農学研究科、東京大学大学院農学生命科学研究科、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
協 力	環境省